Medical Club

～「病気になってから」ではなく「病気にならない」ために～

パーソナルな医療で、健やかに自分らしく生きるロンジェビティを

青木優美クリニックは

Precision Medicine を

基本理念に患者様へ医療のご提供

“誰かと同じ方法”ではなく
“自分に合った”ケアを

その一歩一歩が、未来の健やかさを育む
あなただけのロンジェビティケア



Medical Club

- 病気にならないための身体づくり

  ー 遺伝子検査・栄養解析による未病ケアプログラム

- がん予防のための身体づくり

  ー がんにならない体をゼロから日々の心身の健康を包括的にサポート

- がん治療後の健康管理と再発予防

  ー 病気を乗り越えた先にある『新しい自分』を〈つくり直す〉アプローチ

病気にならないための身体づくり

～プラン内容～

〈検査・カウンセリング〉

- 栄養解析（オーソモレキュラー栄養療法）／食事・栄養カウンセリング
- 遺伝子検査（がんリスク・生活習慣病）／マイクロRNA検査（がんリスク）

※遺伝子検査は初回のみ

〈施術・治療〉

- 点滴療法＋水素吸入

  マイヤーズ・カクテル点滴／高濃度ビタミンC点滴（12.5g / 25g）

  グルタチオン点滴／エイジングケア点滴

- BIS＜M

〈サプリメント〉

がんにならないための身体づくり

～プラン内容～

〈検査・カウンセリング〉

- 栄養解析（オーソモレキュラー栄養療法）／ 食事・栄養カウンセリング
- 遺伝子検査 （がんリスク・生活習慣病）／ マイクロRNA検査（がんリスク）

※遺伝子検査は初回のみ

〈施術・治療〉

- 点滴療法＋水素吸入

  マイヤーズ・カクテル点滴 ／ 高濃度ビタミンC点滴（12.5g / 25g / 50g）

  グルタチオン点滴 ／ エイジングケア点滴

- 低反応レベルレーザー治療
- BIS＜M

〈サプリメント〉

がん治療後の健康管理と再発予防

～プラン内容～

〈検査・カウンセリング〉

- 栄養解析（オーソモレキュラー栄養療法）／食事・栄養カウンセリング
- 遺伝子検査（がんリスク・生活習慣病）／マイクロRNA検査（がんリスク）／CTC検査

※遺伝子検査は初回のみ

〈施術・治療〉

- 点滴療法＋水素吸入

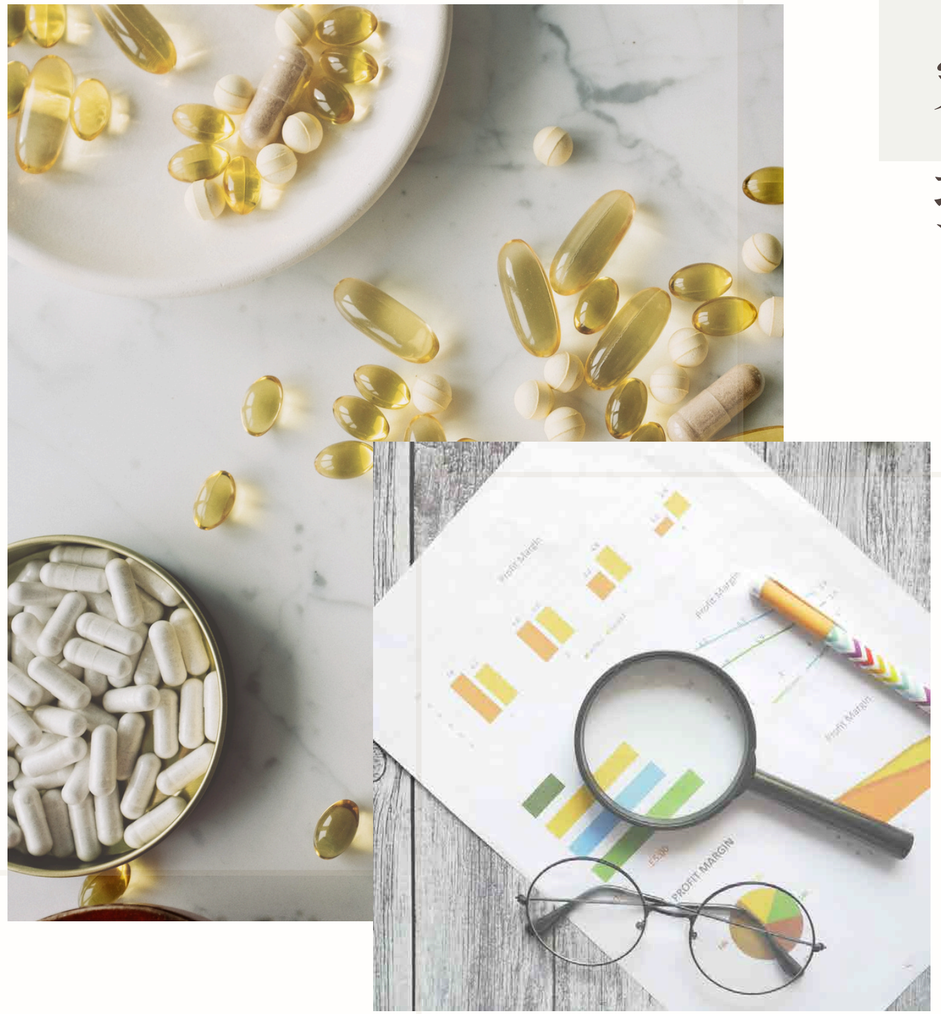
  マイヤーズ・カクテル点滴／高濃度ビタミンC点滴（12.5g / 25g / 50g / 75g）

  グルタチオン点滴／エイジングケア点滴

- 光がん免疫治療
- 樹状細胞ワクチン治療（全血または成分採血）
- BIS＜M

〈サプリメント〉

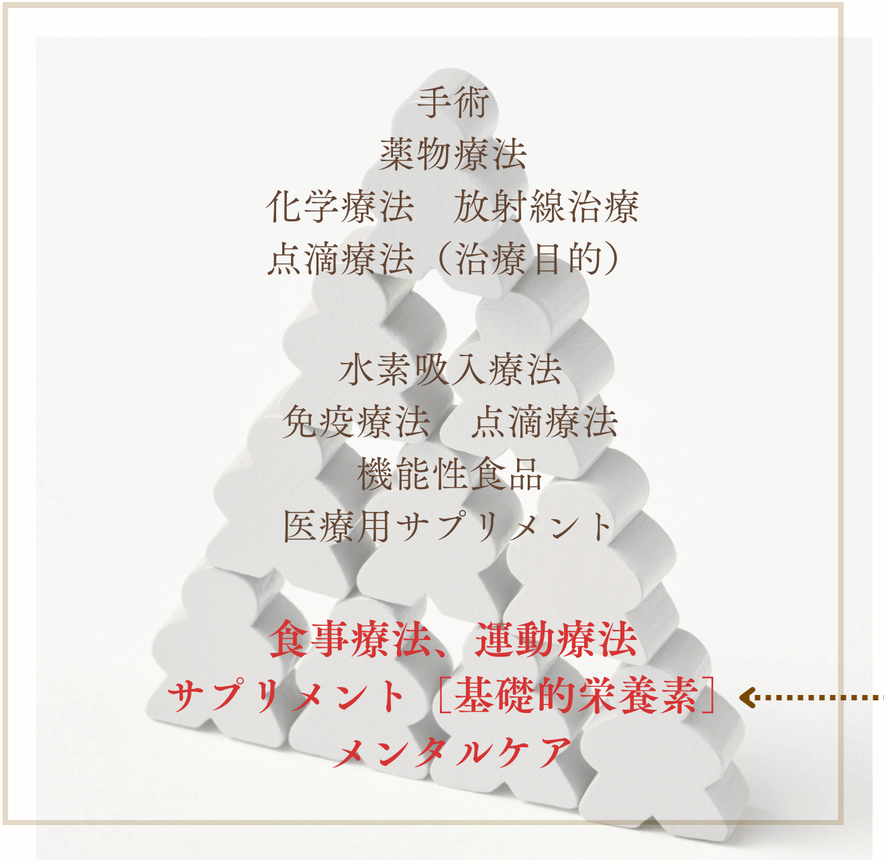
オーソモレキュラー栄養療法



栄養素と食事による
投薬だけに頼らない根本治療

適切な食事やサプリメント・点滴
糖質コントロールを用いて
体を構成する37兆個の細胞のはたらきを
向上させて様々な病気を治す療法

すべての土台・基礎となるのは《食》



土台になる『自分の身体』を《食》によって整えることで
病気にならない身体づくりが実現でき
健康維持・増進、治療効果の促進、QOLの改善につながる

体質を根本的に改善し
最も基本となる治療

〈例〉栄養状態低下
BCAA服用アプローチ

血液検査の結果より栄養素の過不足を知る

一般的な栄養学

欠乏症や過剰症でなければ正常である
・脚気でなければビタミンB1は足りている
・貧血でなければ鉄は足りている

オーソモレキュラー栄養療法

潜在性の欠乏状態があるか
・栄養素の過不足によって不調が生じる
・必要量には個人差がある
・血液検査結果から科学的データに基づいた栄養療法

健康診断では『異常なし』でも…

疲れやすい、肩がこる、イライラする、元気が出ない、抑うつ感、頭痛や頭重感、皮膚トラブルなど…
原因は栄養バランスの乱れによって起こっている症状の可能性

血液検査結果による科学的データに基づいた栄養療法が『理想の状態』へのサポートになる

栄養解析

《検査項目の例》	《通常の診断対象》	《オーソモレキュラー栄養医学的解釈の一例》						
		〈タンパク質代謝〉	〈脂質代謝〉	〈糖代謝〉	〈ビタミン不足〉	〈ミネラル不足〉	〈酸化ストレス〉	
総蛋白	栄養状態、肝臓・腎臓	●					●	
アルブミン	栄養状態、肝機能	●						
AST	肝機能	●			●		●	
ALT	肝機能	●			●		●	
ALP	肝機能					●		
LDH	貧血、炎症、骨疾患	●			●		●	
γ-GTP	肝臓、胆道系疾患	●						
総コレステロール	高コレステロール血症	●	●	●				
中性脂肪	肥満の状態	●	●	●			●	
尿素窒素	腎臓機能	●						
クレアチニン	腎臓機能	●						
ヘモグロビン	貧血	●			●	●		
ヘマトクリット	貧血	●				●		
血清鉄	貧血	●				●	●	
フェリチン	悪性腫瘍	●				●		

Aoki Yumi Clinic

食事・栄養カウンセリング

カウンセリングでは食生活や運動習慣、生活状況を管理栄養士がくわしくヒアリングし
ひとりひとりにあったお食事・サプリメント・生活習慣アプローチのご提案



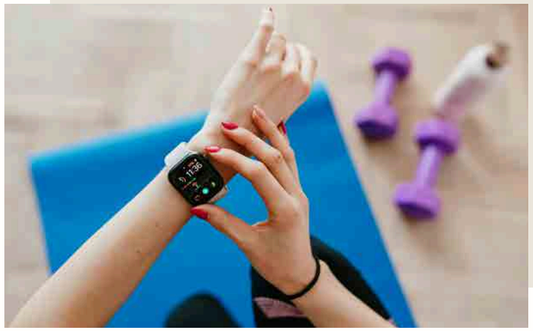
食事

タンパク質の最適化
血糖コントロール



サプリメント

メディカルサプリメント
点滴療法



生活習慣

ストレスマネジメント
適切な運動

サインポスト遺伝子検査〈がんリスク検査〉

がん遺伝子検査でわかること

- どんながんになりやすい遺伝子を保有しているのか
- がんの発症予防にはどのようなライフスタイル・食生活が適しているのか

臓器のがんは、
“がんになりやすい体質［遺伝子リスク］の人”が、“なりやすい生活習慣［環境因子］を継続する”ことにより
がん細胞が時間をかけて増殖して発症に至るとされている

検査項目

– 男性12項目・女性14項目のがんに関する100種類以上の遺伝子を測定

〈男性12項目〉

- 胃がん
- 食道がん
- 脳腫瘍
- 大腸がん
- 肺がん
- 膵臓がん
- 肝臓がん
- 胆嚢がん
- 膀胱がん
- 胃細胞がん
- 白血病
- 前立腺がん

〈女性14項目〉

- 胃がん
- 食道がん
- 脳腫瘍
- 大腸がん
- 肺がん
- 膵臓がん
- 肝臓がん
- 胆嚢がん
- 膀胱がん
- 胃細胞がん
- 白血病
- 子宮頚がん
- 乳がん
- 卵巣がん

サインポスト遺伝子検査〈がんリスク検査〉

検査結果のイメージ

保有遺伝子から見た各がんの
総合的リスクを判定するとともに
生活習慣の注意点や
改善方法、早期発見のための検査が
結果に記載される



この検査を通して“具体的に知る”ことで…

- 疾患への効果的な予防法を早期から身につけることがわかる
- 個人に適した食生活や運動習慣、ライフスタイルがわかる

→ より適切で効果的な生活を送る指標になる

サインポスト遺伝子検査〈生活習慣病予防プログラム〉

生活習慣病の要因

“個人の遺伝体質”と“肥満や運動不足などの生活習慣”

両方にあるため個人によって差が現れると考えられている

人の遺伝子の並びは個人によって違いがある
この遺伝子の並びの違いのうち、医学的に“個人差を生じさせている”と解明されている遺伝子を検査することで
生活習慣病に関連することが多い16項目の“体質”について発症リスクを知ることができる検査

リスク評価項目



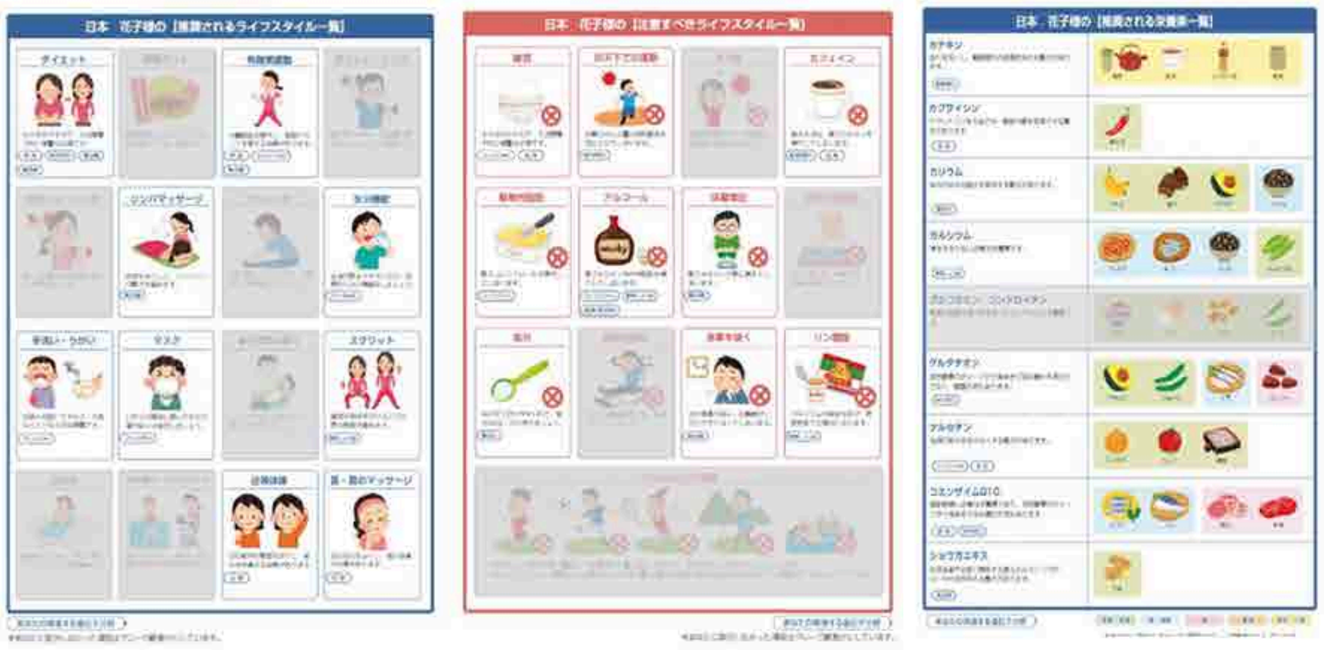
約350種類の遺伝子の保有状況を測定

サインポスト遺伝子検査〈生活習慣病予防プログラム〉

検査結果のイメージ

項目ごとに保有遺伝子の
測定結果が記載されている

結果から推奨される栄養素や
ライフスタイルの一覧も
右記のように記載される



この検査を通して“具体的に知る”ことで…

- 疾患への効果的な予防法を早期から身につけることがわかる
- 個人に適した食生活や運動習慣、ライフスタイルがわかる

→ より適切で効果的な生活を送る指標になる

Aoki Yumi Clinic

miSignal〈マイクロRNA検査〉

miSignalとは？

尿中のマイクロRNAを抽出しがんリスクを調べる検査
マイクロRNAとは細胞間のコミュニケーションを担う伝達物質の1つ
がん細胞などでは特定のマイクロRNAの増減がみられることがわかっている

独自の技術を用いて様々なマイクロRNAの発現パターンの情報を収集し
AI解析を行うことで、がんリスクの判定が可能



検査項目

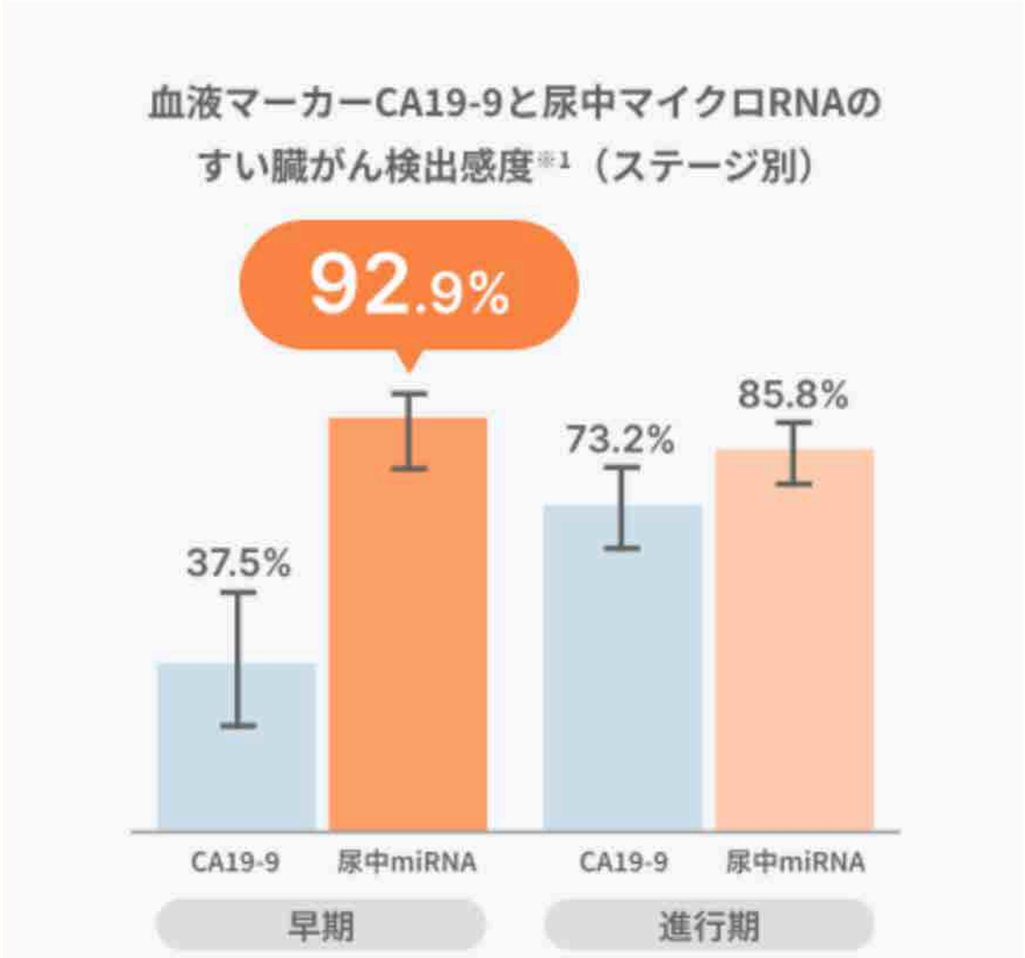
〈男性12項目〉

- 胃がん
- 食道がん
- 大腸がん
- 膵臓がん
- 膀胱がん
- 腎臓がん
- 肺がん
- 前立腺がん

〈女性14項目〉

- 胃がん
- 食道がん
- 大腸がん
- 膵臓がん
- 膀胱がん
- 腎臓がん
- 肺がん
- 乳がん
- 卵巣がん

発見が難しい早期すい臓がんも高い感度で検出



早期すい臓がんに対する尿のマイクロRNA検査の

感度・特異度92.9%

※感度：病気のある人を正しく、陽性と判定できる割合
特異度：病気のない人を正しく、陰性と判定できる割合

尿のマイクロRNA検査は
検知が難しいとされる早期すい臓がんでも
優れた検出性能が確認された

従来のすい臓がんの腫瘍マーカーである
CA19-9の早期がん(ステージⅠ/ⅡA)の感度は37.5%に対して
尿中マイクロRNA検査は感度92.9%

がん循環腫瘍細胞CTC検査

CTC検査とは？

がん細胞は1～1.5mmになると血流に栄養や酸素を求めて血管内へ浸潤し、血液中を循環する

→ この血中循環腫瘍細胞がCTCとよばれる

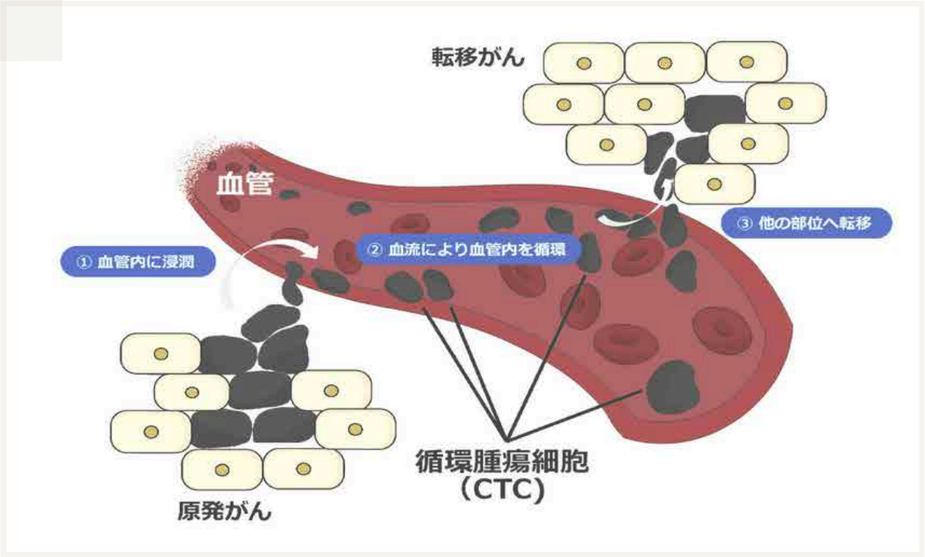
がんの検出はCT検査などの画像検査では1cm以上

PET検査でも5mm以上にならないと難しいため

血液からCTCを検出することで

画像診断では難しい大きさのがん腫も

早期に検知を行うことが可能になる



既存の検査との違い



画像検査等では確認できない「ステージ０」レベルでも疾患の可能性を発見することが可能

既存の早期発見の一歩先を行くことで、治療方法や薬剤の使用などにおいての幅が広がり

完治する確率が高まるのはもちろん、その進行を遅らせることができる

また疾患のリスクが高い場合でも、免疫力増強や食事改善などにより予防することが可能

マイヤーズ・カクテル点滴

人間の体の中に存在する栄養素である**ビタミン・ミネラル**を点滴

気管支喘息や偏頭痛、慢性疲労症候群、線維筋痛症などさまざまな疾病に有効とされている

もともと人間の体の中に存在する栄養素を点滴するため、副作用はほどんどない安全な点滴療法

期待できる効果

- 健康維持・増進
- 免疫力向上
- 疲労回復
- ストレス軽減
- 生活習慣病予防
- 不調改善

高濃度ビタミンC点滴

がん治療やがん予防をはじめ、風邪やインフルエンザなどの感染症予防、健康維持
疲労回復、そしてアンチエイジング、美肌といった様々な効果を発揮するといわれている

経口摂取では得られない高濃度のビタミンCを点滴によって
優れた**抗酸化作用**や**アンチエイジング効果**が期待できる

期待できる効果

- 健康維持・増進
- 免疫機能向上
- がんの予防
  再発予防
- 疲労回復
  抗ストレス
- 生活習慣病予防
- 抗アレルギー作用

グルタチオン点滴

グルタチオンは肝臓などで生成される**抗酸化物質**
3つのアミノ酸（グルタミン酸・システイン・グリシン）からなるペプチド
肝臓や肺、心臓、血液、脳など体中の臓器に存在
健康を維持していく上での必須栄養素

期待できる効果

- 健康維持・増進
- 免疫力向上
- デトックス
- 老化防止
- 食いしばり
- 美白・美肌

エイジングケア点滴

人間の体の中に存在する栄養素である**ビタミン・ミネラル**をベースにした点滴に

抗酸化作用および**デトックス作用**のあるグルタチオン配合の点滴療法

さらにビタミンCは高濃度に配合し、**免疫力の増強**や**疾患の予防・改善**に効果

期待できる効果

- がん予防
- 生活習慣病予防
- 疲労回復
- 免疫力向上
- 健康維持・増進
- ストレス軽減

低反応レベルレーザー〈LLLT〉

低反応レベルレーザー治療は光線療法

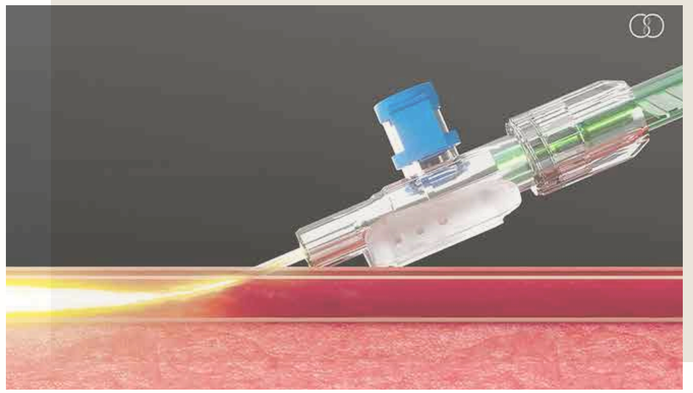
一般的な病巣を焼き切るような高出力のレーザー治療とは異なり
手をかざしてもほとんど熱さを感じない出力の特殊レーザー光を使用
そのため体内や皮膚に直接照射しても安全

静脈内・間質内・間接内に使用できる世界で初めて承認されたシステム

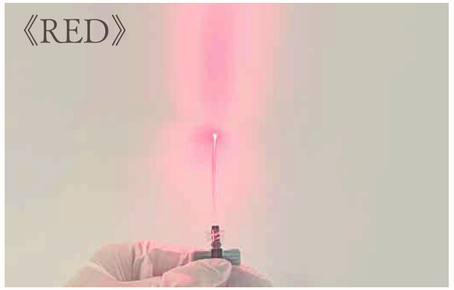
静脈内レーザー治療は、通常の静脈注射のように特殊な光ファイバーカテーテル技術を使用して
発生装置からのレーザー光を針を通して直接血流に照射し、循環血球と幹細胞を刺激

<u>６種類の異なる波長のレーザーの効果</u>

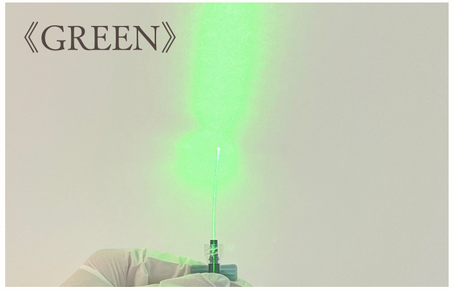
免疫力の増強　　細胞修復　　抗酸化作用　　抗炎症作用
代謝の向上　　デトックス作用　　などなど



各レーザー光線の主な作用



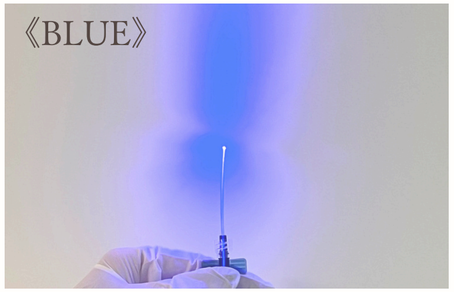
抗炎症 / 怪我や傷の治癒を早める
マクロファージ貪食作用の活性化
様々な代謝経路の活性化
鎮痛・鎮静効果



強力な抗炎症性 / ATP産生の増強
赤血球の活動や弾力性を改善し
酸素運搬を増加させる
炎症や炎症性の痛みを改善する



デトックス / 抗うつ / 痛みの緩和
解毒効果を有する抗酸化酵素系の改善
セロトニンとビタミンDの代謝向上により
うつ、不安症の改善



アンチエイジング / 糖尿病改善 / NO産生向上
インスリン調節により糖尿病を管理
糖尿病合併症の予防
血圧・悪玉コレステロールを下げる



疲労回復
組織深部に作用する抗炎症・修復効果
ATP産生の増加に伴う特異的な吸収により
ミトコンドリアを刺激し
身体・精神の疲労回復



免疫システムを強化 / 全身の体調改善
血管を拡張して循環を改善
体血組織への酸素吸収を高める
ウイルスおよび細菌の増殖を防止

LLLTの適応

痛みの緩和・治癒促進・血流の改善・神経伝導の抑制など

さまざまな生体作用への影響が報告されており

細胞の活性化・細胞の再生力向上・酸素供給増加などの作用により・・・

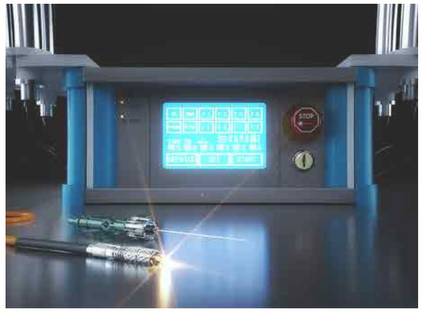
期待できる効果

- 生活習慣病の改善
- 怪我や傷の治癒促進
- 炎症の回復促進
- アスリートのパフォーマンス向上

光がん免疫治療

光感作製剤（IR783）と低反応レベルレーザー光線によるがん治療

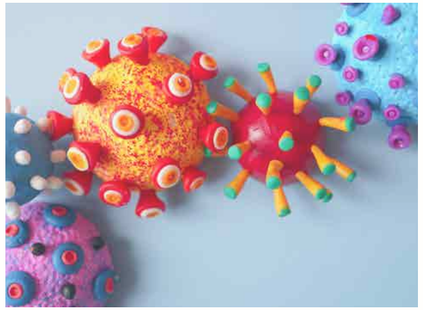
IR783はがん細胞に融合し蓄積するように設計されており、点滴投与後、光の照射によってがん細胞を破壊する



①光による
がん細胞の障害



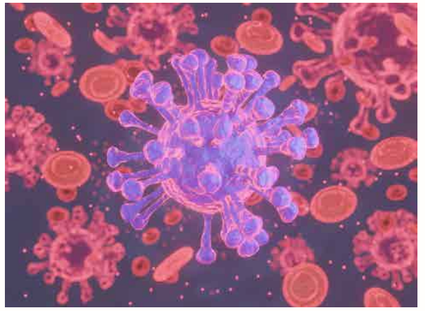
②がん細胞の破壊と
抗原の放出



③免疫細胞が
抗原を認識



④免疫細胞が活性化



⑤がん細胞への攻撃に
つながる

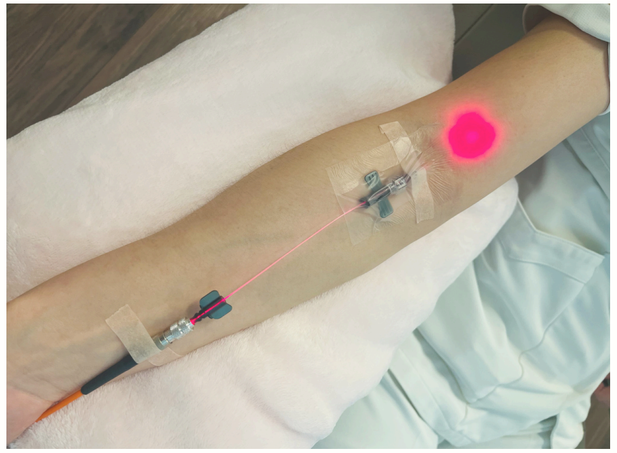
光がん免疫治療は、直接的・間接的にがん細胞を特異的に攻撃し、副作用の少ない治療法

光がん免疫治療

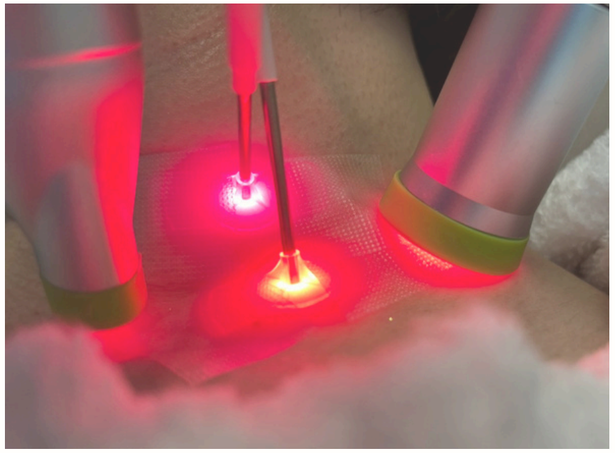
光感作製剤　IR783リポソームとは

IR783は、有機アニオントランスポーターを介して、がん細胞に特異的に取り込まれ
正常細胞への影響が少ないとされている

レーザー照射がなくても、がん細胞の代謝とミトコンドリア機能を障害し
自然免疫を活性化させる作用があるとされており、抗腫瘍効果が期待できる



←低反応レベルレーザー



← SUPER LIZER PX

樹状細胞ワクチン治療

樹状細胞ワクチン治療とは

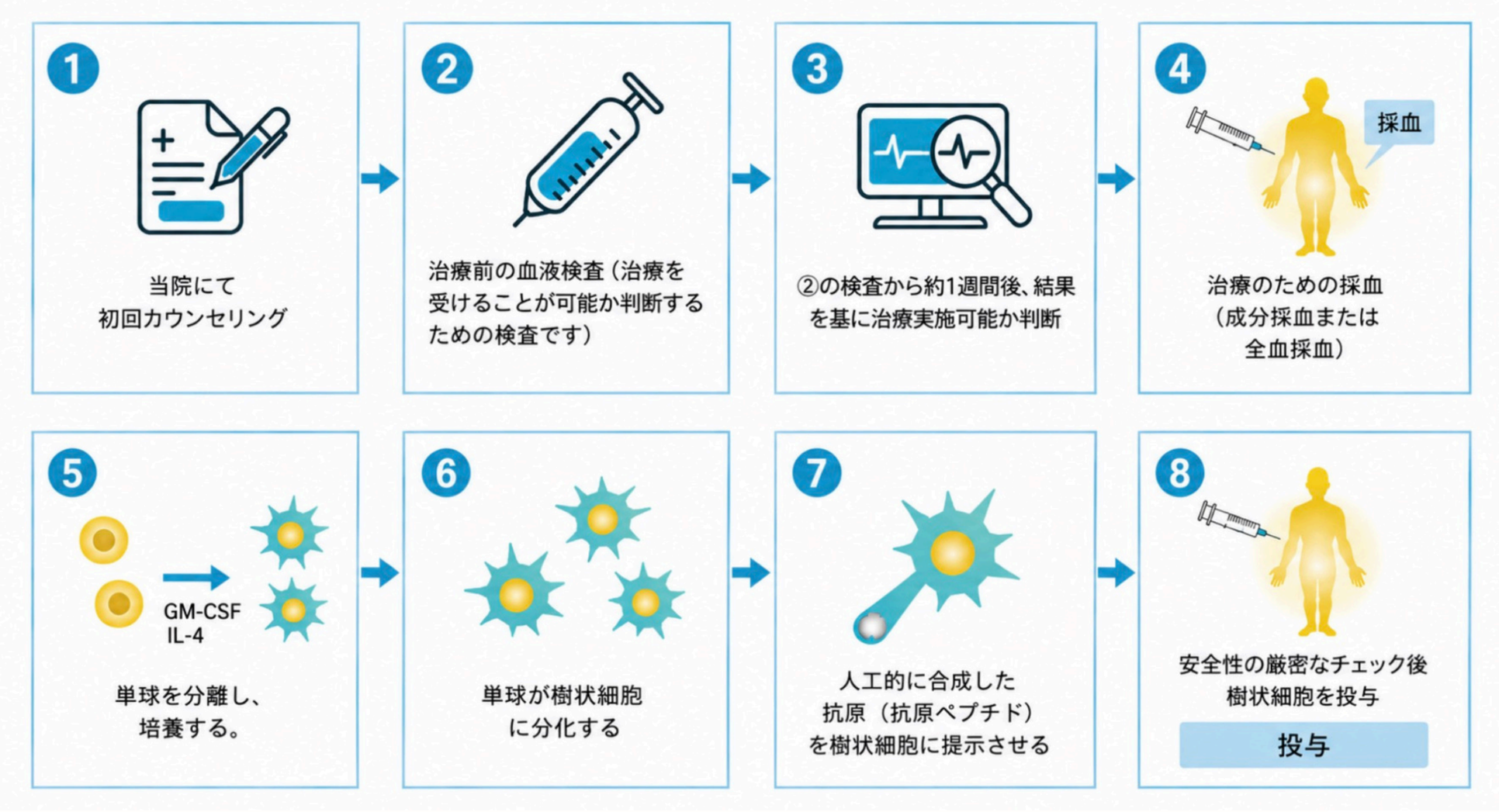
樹状細胞を活用し、がん細胞のみ攻撃する免疫細胞を増幅させ
より効率的にがん細胞を攻撃することを目的とする治療法

樹状細胞とは

体内でがん細胞を直接攻撃するTリンパ球に、がんの目印（がん抗原）を教え、攻撃の指示を与える免疫細胞

がん細胞のタンパク質が樹状細胞に取り込まれると、それが細胞内で分解され
自身のがんの情報（抗原）として樹状細胞に記憶される。
↓
↓
樹状細胞は記憶した抗原を表面に目印として出す
それを体内に戻すことで、“目印”を頼りにがん細胞だけを集中的に攻撃するTリンパ球を
効率よく誘導することができる

樹状細胞ワクチン治療の流れ



水素吸入療法

～水素の働き～

悪玉活性酸素を選択的に消去

体にポジティブに作用する善玉活性酸素とは反応せず
抗酸化力の強い悪玉活性酸素だけと結びついて体外に排出

悪玉活性酸素を除去することで
“病気になりにくい身体づくり”や“がん治療による副作用の軽減”に

全身くまなく届いてくれる

水素は極めて小さい上に拡散性が強いため、食事から摂取したビタミンC・Eなどの
抗酸化物質が到達できない脳や体の末端までくまなく届く

さらに、水素は水と脂のどちらにも溶け込むことができるため
脂質の多い細胞膜も水分の多い細胞内外も自在に行き来ができる



水素吸入による期待できる効果



免疫力アップ

ミトコンドリアの働きが高まることで
免疫細胞が活発になり
健康の維持・増進
免疫力アップが期待できる



抗酸化

悪玉活性酸素を消去してくれる
抗酸化作用によって
シミ・しわ・くすみを改善



抗炎症

体の炎症を抑制するため
体力回復やケガからの回復を
サポートする



副交感神経を優位に

交感神経のスイッチがOFF
α 波や θ 波という脳波も出現するため
睡眠の質改善にも作用

ウェルネススパ

BIS<M　Beauty, Immunity, Spa, Medical

スパ以上医療未満

施術の前後に

看護師がケア内容をよりパーソナルにご提案し、お腹の触診と聴診を行う
お腹に触れたり、腸の音を聞いたりすることで、腸の状態を確認し、施術後にも再度確認を行う

施術

国際ライセンスを取得したエステティシャンが、腸と免疫に着目
死海の泥やオイルを用いたオールハンドの手技で、腸に関わる神経やリンパに優しくアプローチ
泥パックで身体を温め、巡りを促す腸のケアを行う

ホームケア サプリメント

IORIZE VitaminC

イオン化ミネラル配合のビタミンC

院長がアドバイザーとして開発のサポート

～ビタミンCを「毎日」摂る必要性～

- 体内に長時間蓄えられない
- 尿中へ排泄されやすい
- 1度に大量に飲むより分けて摂る方が
  体内で利用されやすい



アルベックス

乳酸菌生成エキスは生きた乳酸菌ではなく

乳酸菌が作り出したエキスと菌体物質

この乳酸菌生成エキスは

「バイオジェニックス」という

新しい分野に分類される機能性素材

～相性に関係なく、体内細菌を育む～



乳酸菌が分泌する有用成分は

相性を問わず、身体細菌の

種類・総量・バランスを整えるサポートをする

ホームケア サプリメント

ADEKミセル　A10000ミセル
D5000ミセル　E200ミセル

ビタミンA 抗酸化作用・免疫機能の維持

ビタミンD 免疫細胞の増殖

ビタミンE 抗酸化作用

※ビタミンCとの摂取が有効
ビタミンCによって還元されて
抗酸化作用を取り戻す









亜鉛

体内に存在するミネラルで2番目に多く
細胞の生まれ変わり、遺伝子の合成
免疫機能など
多くの生命活動に欠かせない
そのため、亜鉛不足は様々なトラブルの原因に



フコキサンチノール

酸化ストレスの調節
炎症反応の調節
細胞増殖・細胞死の調節



オプション

・各種サプリメントの購入

・点滴回数の追加

・低反応レベルレーザー治療

・BIS<M施術回数の追加

・光がん免疫治療

・各種免疫細胞療法

（NKT細胞標的治療〈RIKEN NKT®〉 ／ NK細胞治療 ／ αβT細胞治療 ／ 樹状細胞ワクチン治療）

・フコキサンチノール点滴

青木優美クリニックについて

「病気・がんにならない体づくり」を目指し、
治療だけでなく、予防医療で未来の健康も守るクリニック

院長自身も“がんのサバイバー”
自身の経験・知識を基に、最善の治療を患者様へご提供

2011年に乳がんを患い、乳房を全摘出
リンパ節転移もあり、術後は化学療法・放射線治療も経験
治療の「辛さ」、再発の「恐怖」、家庭を守る「責任」という、『見えない恐怖と戦う経験』から
伝えられることを基に、患者様にとって最善のご提案を行っている

“提供するものは自身で体験”
本当に良いものだけを患者様へご提供

院内でご提供している治療方法・点滴・サプリメント等は
すべて院長の青木優美自身が試した上でご提供している
だからこそ、患者様に合わせたご提案を可能にしている

“管理栄養士”による、栄養解析・カウンセリングを実施

数値で判断するだけでなく、個々の身体状態に合わせて、
食事やサプリメント等の具体的な指導・提案を行っている



診療内容について

患者様一人ひとりに合わせた
『がん治療』『予防医療』をご提供

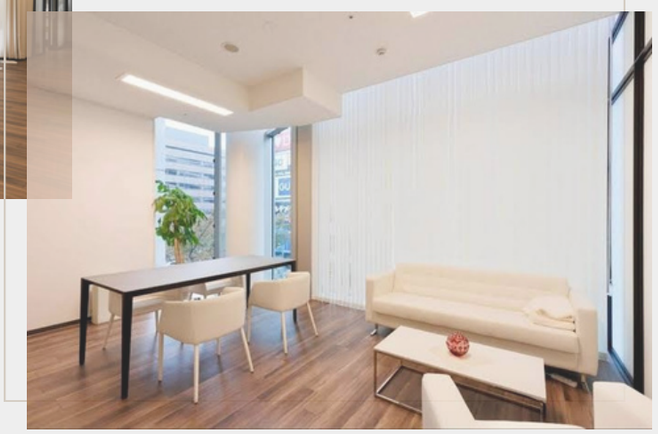
がん治療・リスク検査

- 光がん免疫治療
- NKT細胞標的治療（RIKEN-NKT®）
- NK細胞治療
- αβT細胞治療
- 樹状細胞ワクチン治療
- 循環腫瘍細胞CTC検査
- サインポスト遺伝子検査
- フォーネスビジュアス検査
- miSignal検査
- キャンサーガード検査

点滴療法・栄養療法・生活習慣病

- 高濃度ビタミンC点滴
- マイヤーズカクテル点滴
- エイジングケア点滴
- グルタチオン（美白）点滴
- 低反応レベルレーザー治療
- 栄養解析（オーソモレキュラー栄養療法）
- 食事・栄養カウンセリング
- 生活習慣病診療





院長 青木優美プロフィール

経歴

1989年　久留米大学病院 放射線科へ入局
以降　　東京博慈会記念総合病院 内科
　　済生会大牟田病院 胃腸科
2004年　医療法人ふれあい百年橋クリニック 院長
2006年　父が院長を務める 青木胃腸科内科 副院長
2008年　免疫療法の臨床・研究に着手
2018年　医療法人Fuvenant 理事長
　　青木優美クリニック 院長

医師歴 37年　企業の産業医も18年兼任
放射線科・内科・胃腸科・訪問診療などを幅広く経験



@AYCLINIC_AOKIYUMI

医師を志した理由

江戸時代から15代続く医師の家系に生まれ
祖父と父は80年以上にわたって地域医療に
貢献している町医者だった

しかし、高校生のころは海外や語学に興味があり
「自分に医師が務まるのか」という
不安のほうが大きかった

そんな自分に転機が訪れたのは
高校2年生の進路を決める時期だった

父と言葉を交わしたこと
敬愛する祖父が他界したことが重なり
改めて医師という仕事に向き合った

じっくり考え抜いた末、心から
「父や祖父のような医師になりたい」という
想いに至り、医学部受験を決意した。

CONTACT

092-477-3700

受付時間　午前10:00～13:30 ／ 午後15:30～18:30

info@aoki-yumi-clinic.or.jp

https://aoki-yumi-clinic.or.jp/

【休診日】金曜日・土曜日・第一木曜日午後

【診療時間】午前10:00～14:00 ／ 午後15:30～19:00